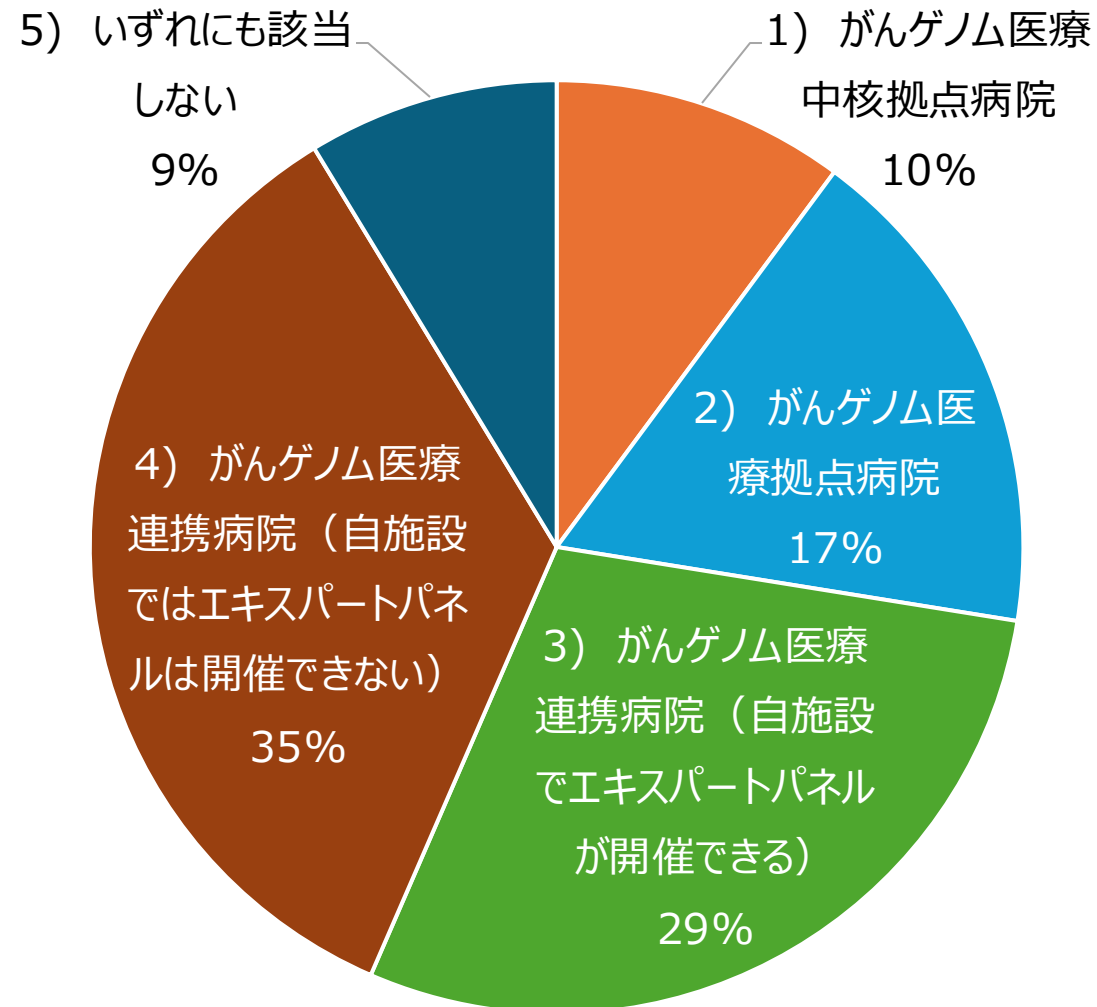
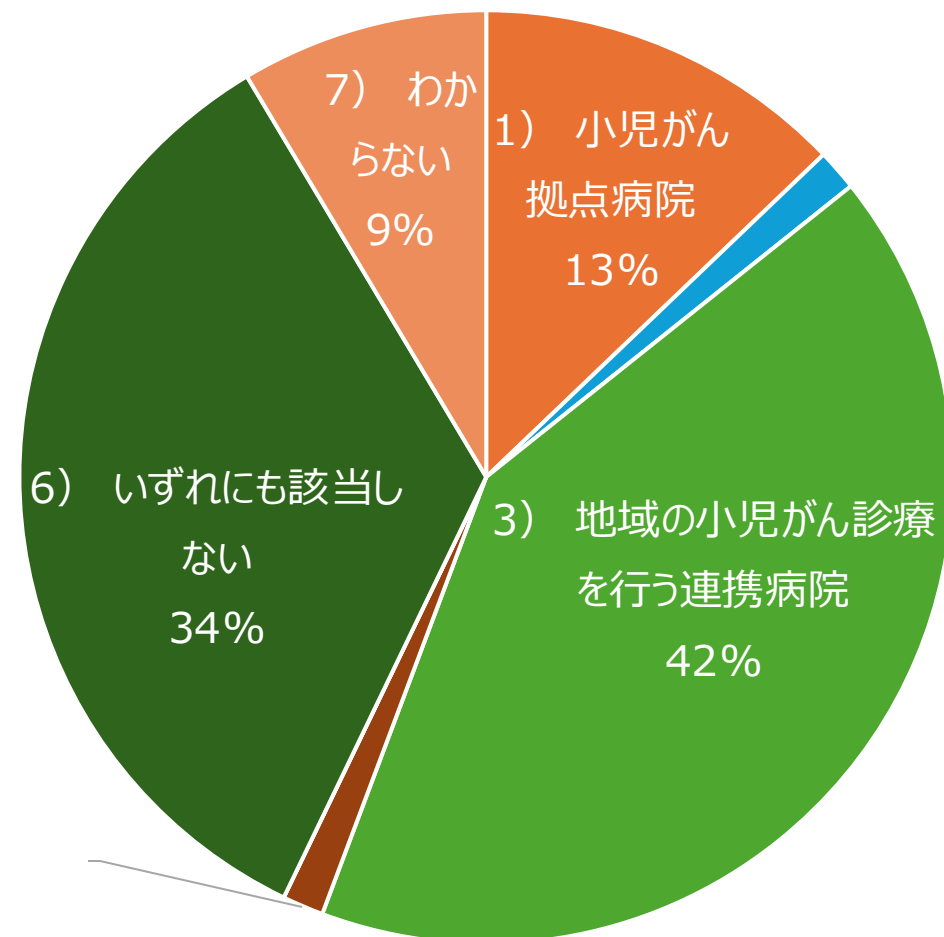


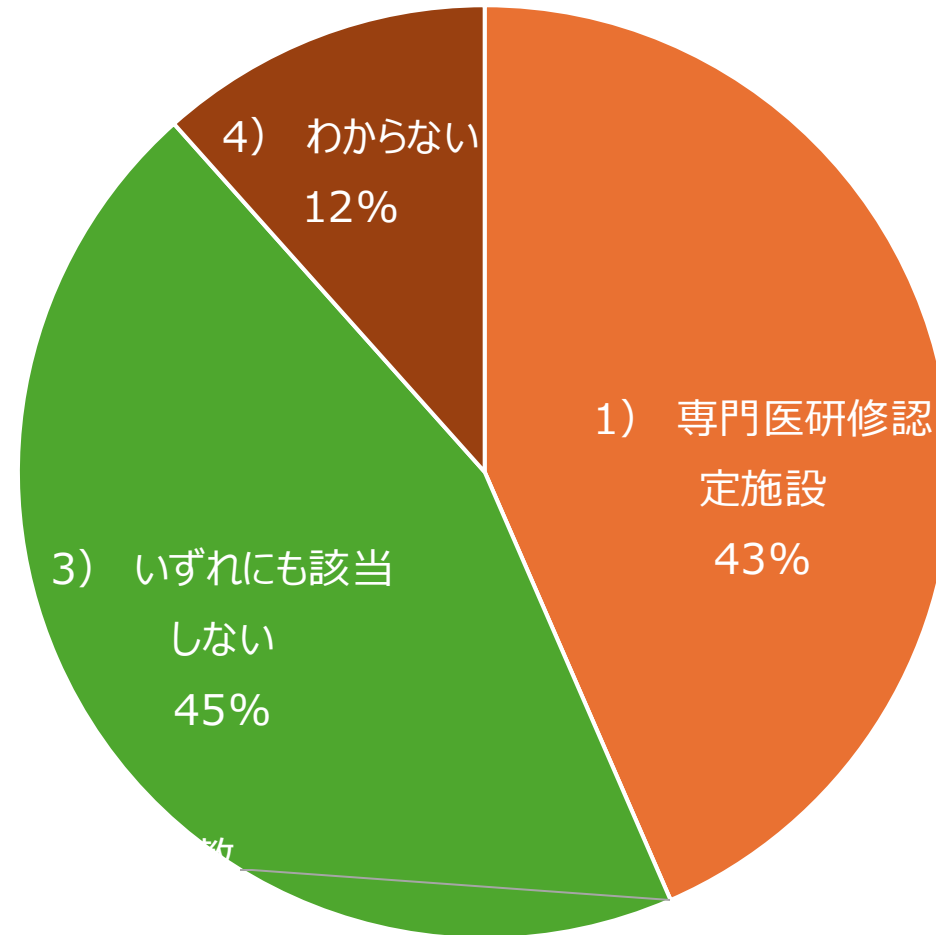
Q1「がんゲノム医療中核拠点病院等」について該当するものを1つ選択ください。



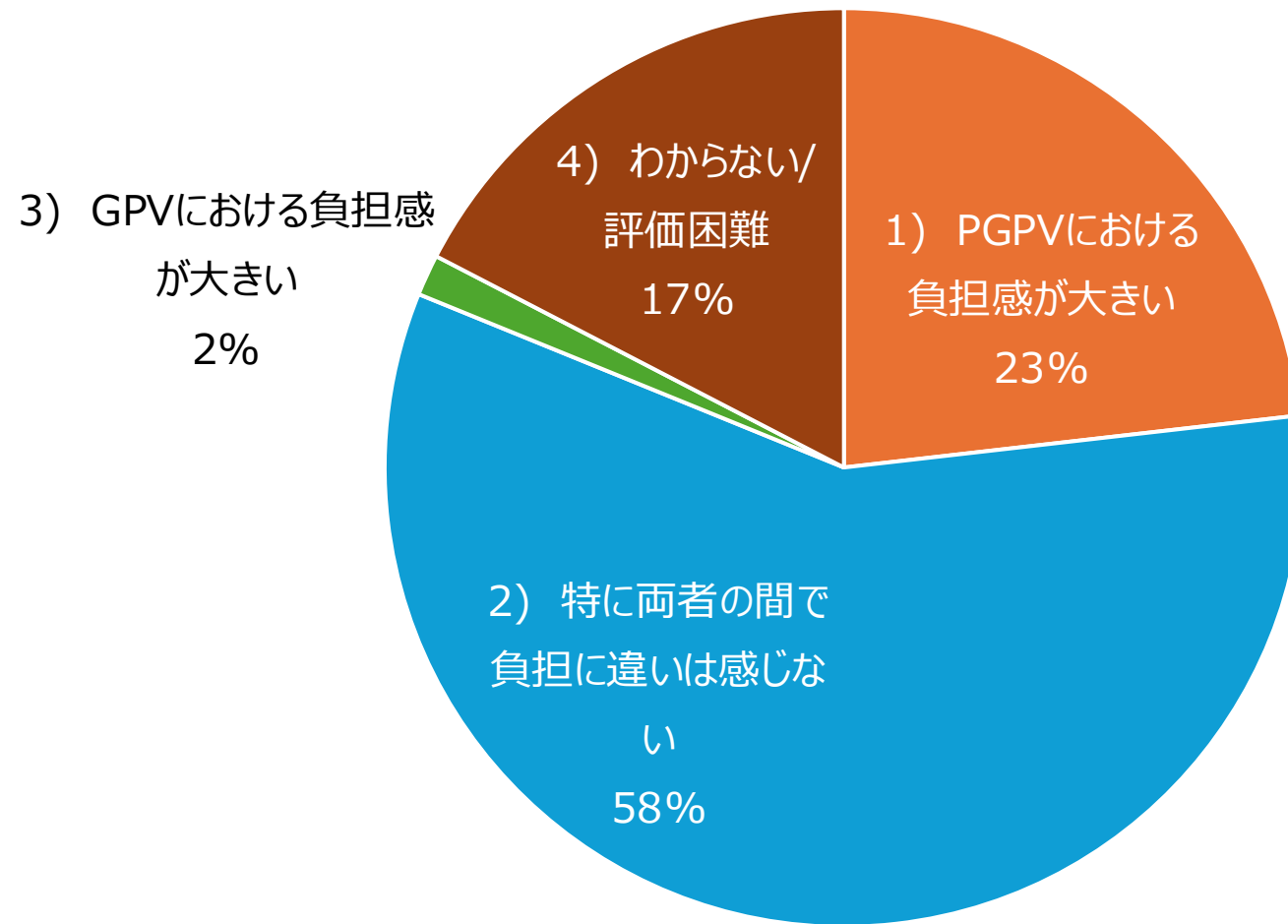
Q2「小児がん拠点病院等」について、該当するものを1つ選択ください



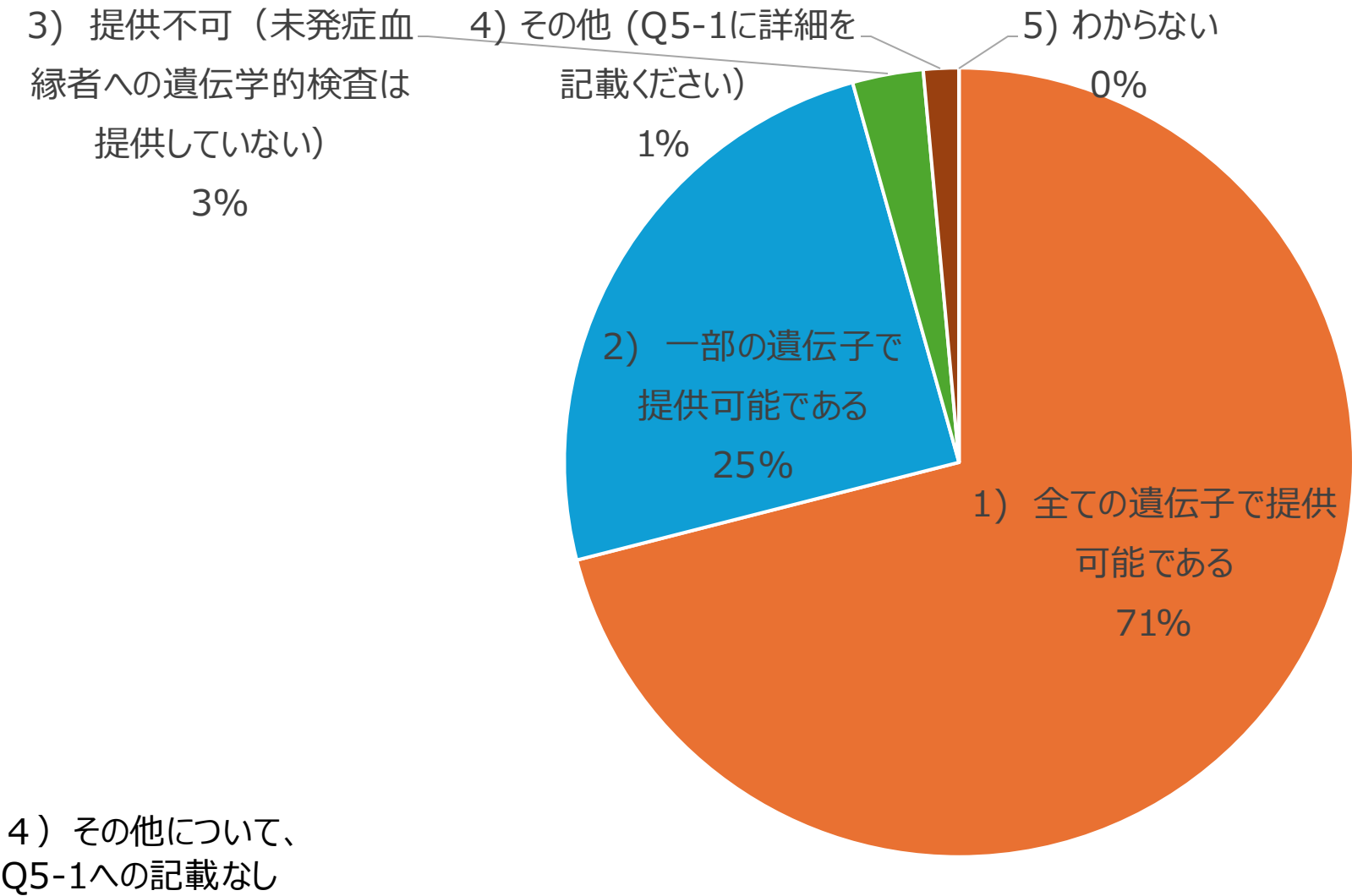
Q3「日本血液学会専門医研修認定施設」について該当するものを1つ選択ください



Q4 貴院にてがん遺伝子パネル検査でGPV/PGPV*の本人への結果開示や遺伝カウンセリング（説明時間、検査手配、血縁者への情報共有等を含む）を行う際に、GPVかPGPVかで負担感に違いはありますか？



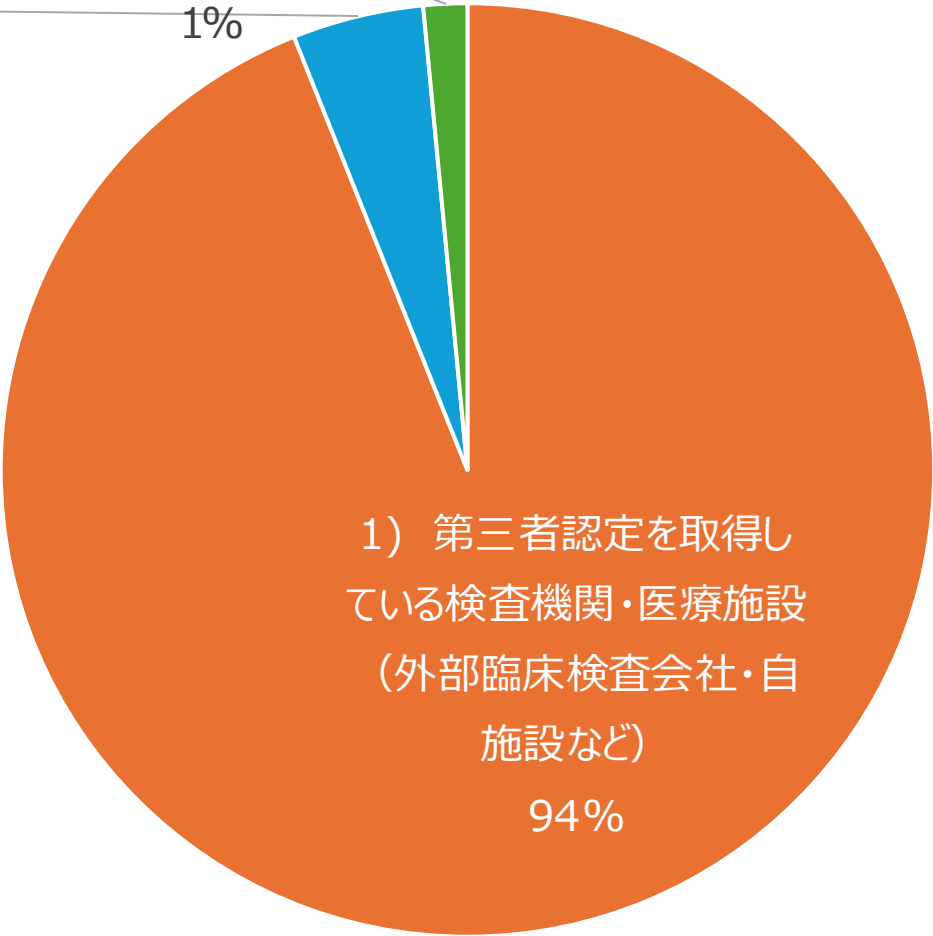
Q5 貴院にてがん遺伝子パネル検査でGPV/PGPVとして開示対象となる遺伝子について、がん未発症血縁者への遺伝学的検査（シングルサイト検査を含む）は提供可能ですか？



Q6 Q5で提供可能と回答された施設にお尋ねします。遺伝学的検査はどこで行われるものですか？（複数回答可）

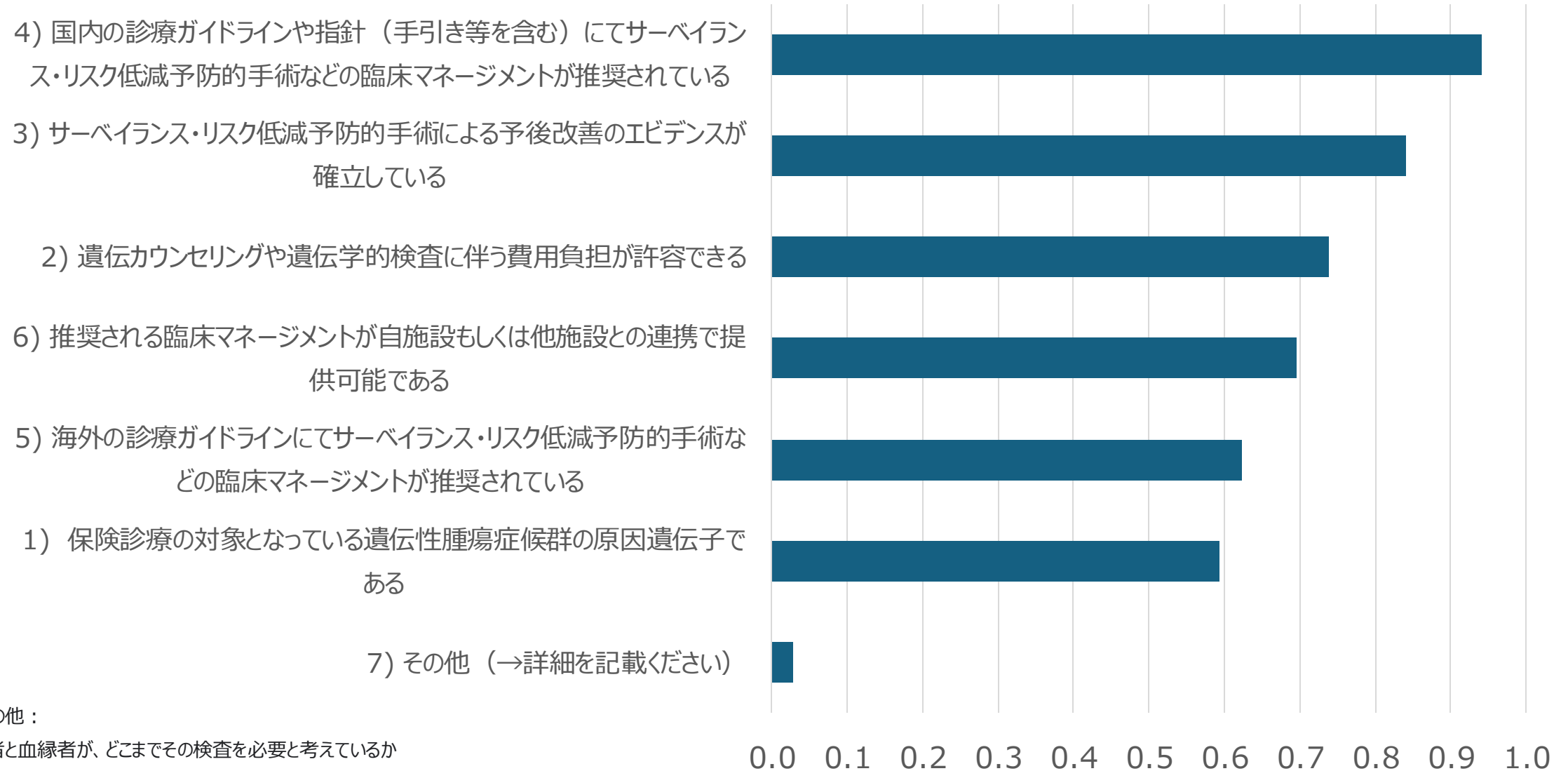
1) 第三者認定を取得している検査機関・医療施設（外部臨床検査会社・自施設など）
5%

3) わからない
1%



1) 第三者認定を取得している検査機関・医療施設（外部臨床検査会社・自施設など）
94%

Q7 がん未発症血縁者に病的バリエーション保持の遺伝学的検査を提案するかの判断で、重要と考えられることは何ですか？（複数回答可）

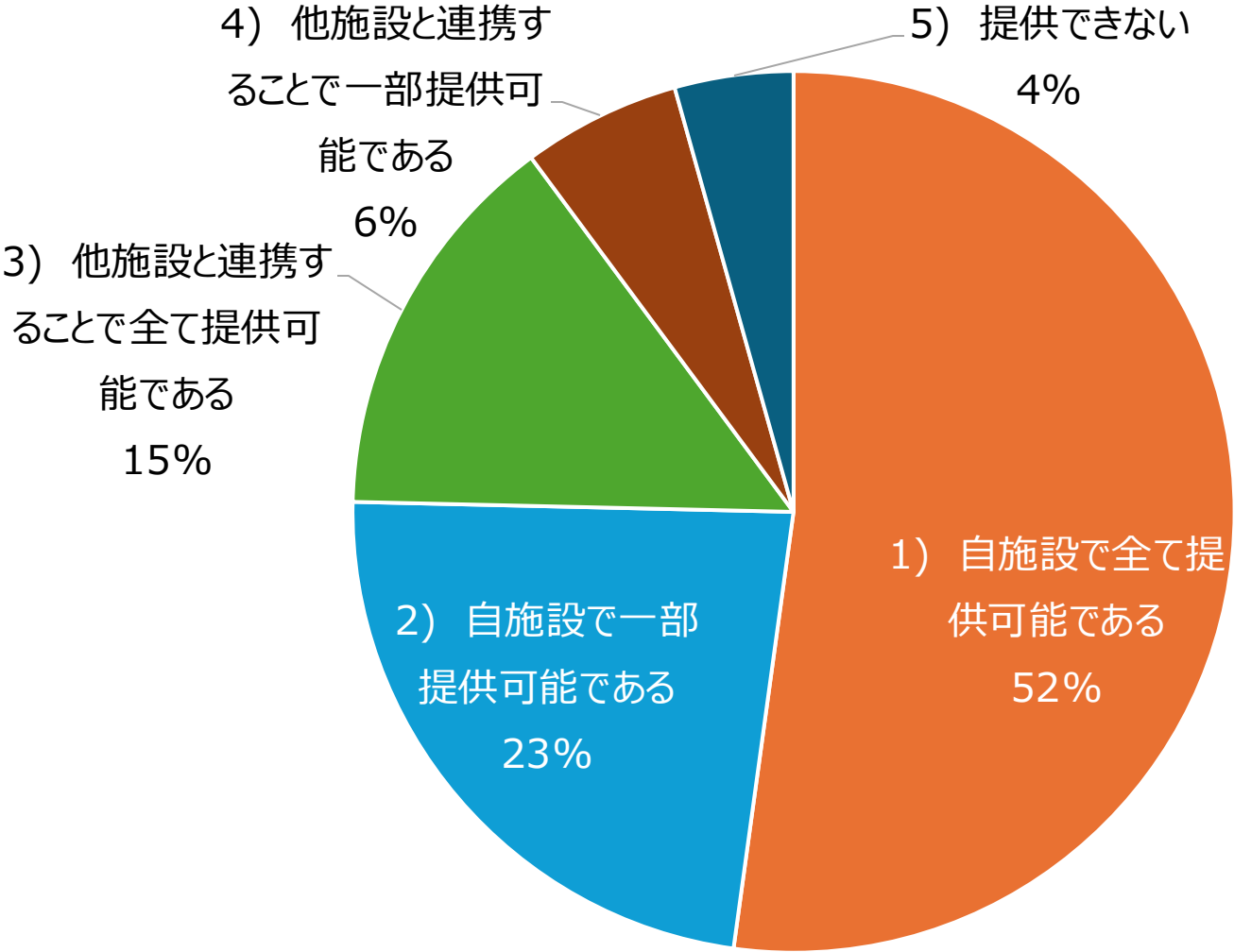


7) その他：

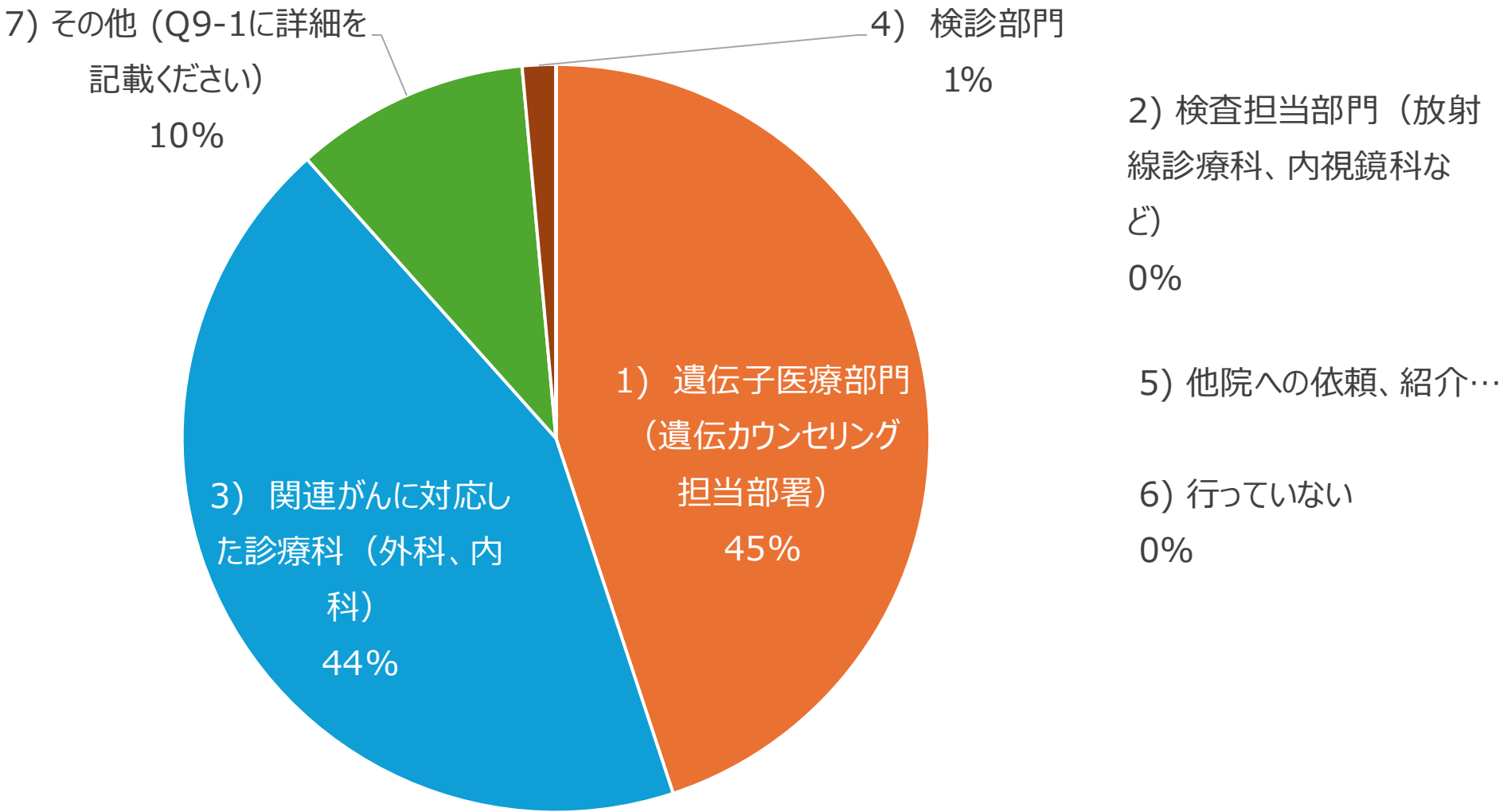
発端者と血縁者が、どこまでその検査を必要と考えているか

小杉班や平沢班の開示対象遺伝子を参考にしています。(->4)

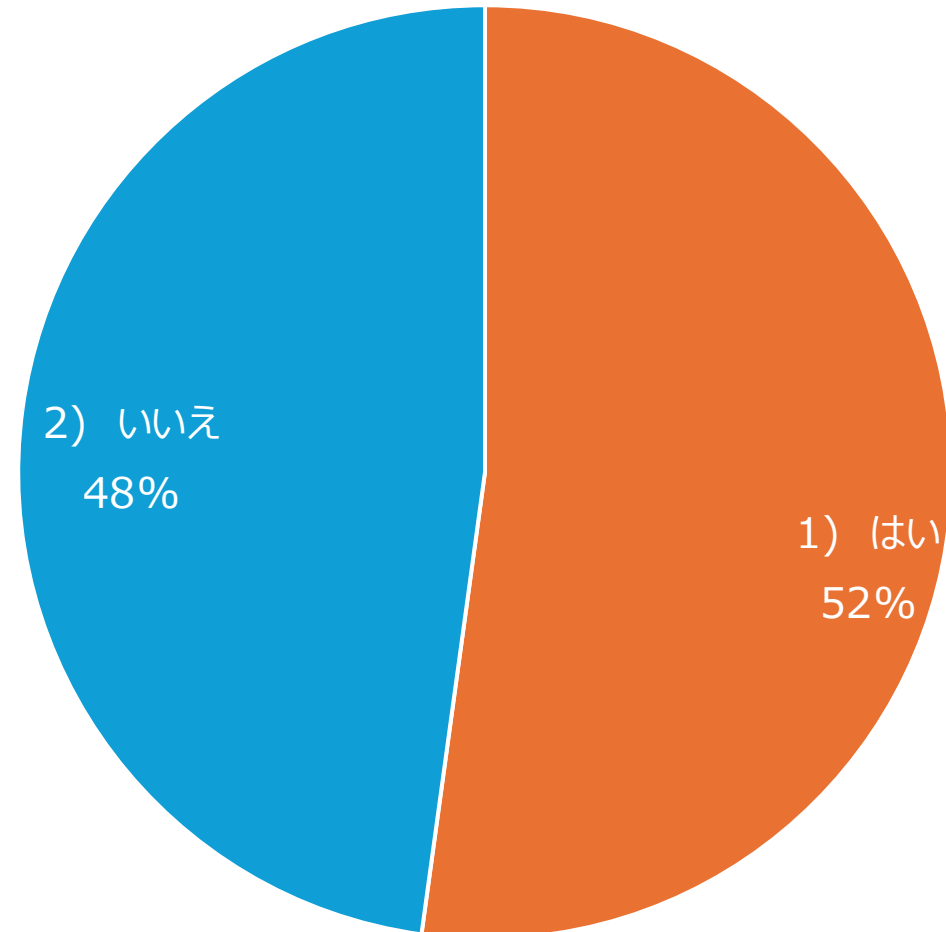
Q8 BRCA1もしくはBRCA2遺伝子生殖細胞系列病的バリエントを保持するがん未発症血縁者に対し、本邦のHBOC診療ガイドラインで推奨される乳癌および卵巣・卵管癌に対するサーベイランス・リスク低減手術を提供可能ですか？



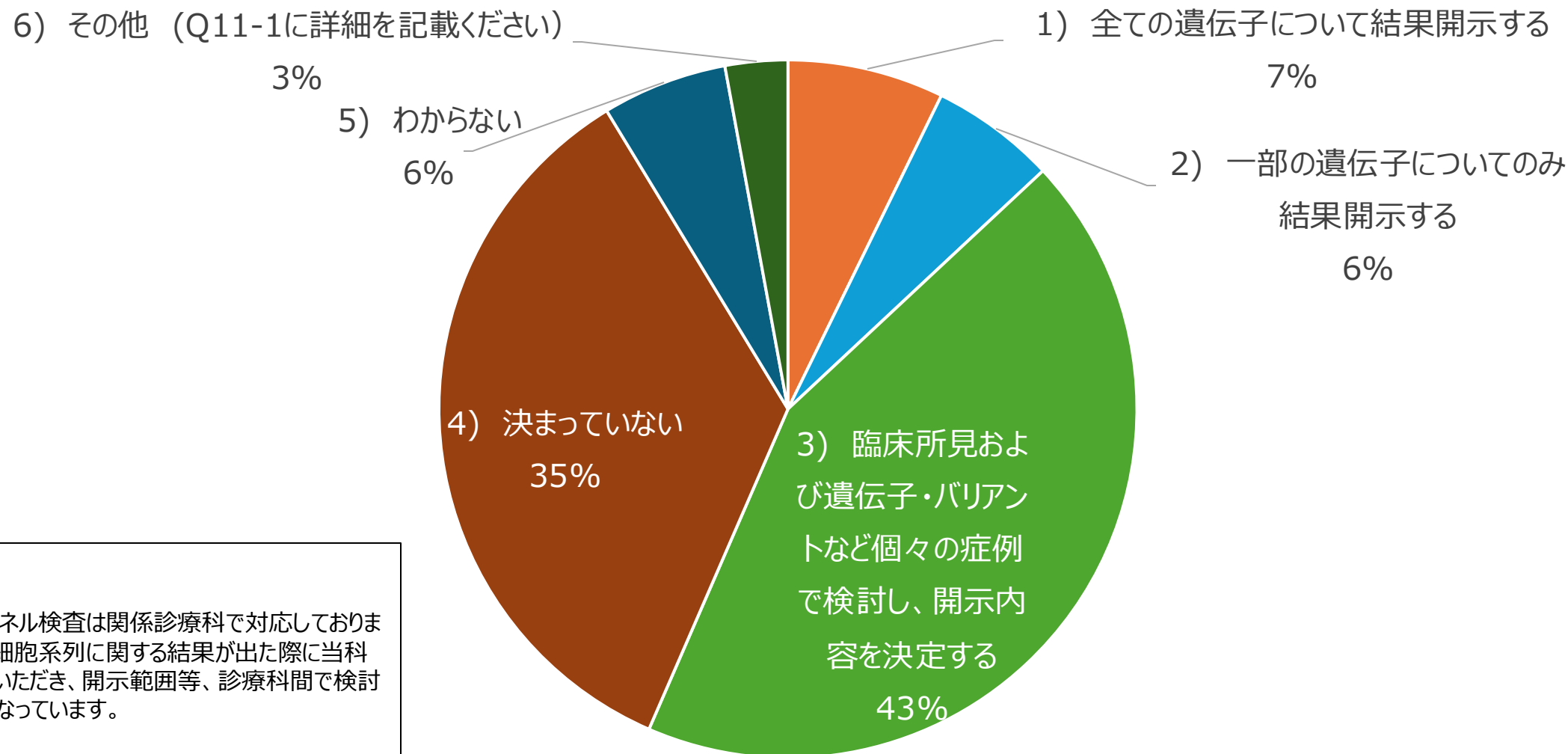
Q9 がん未発症の生殖細胞系列病的バリエーション保持者に対し、がん発症リスクに応じたサーベイランスを実施する場合、医学的管理を統括するうえで「主科」となる部署はどこが最も適切と考えますか？



Q10 造血器腫瘍パネル検査をすでに実施されていますか？



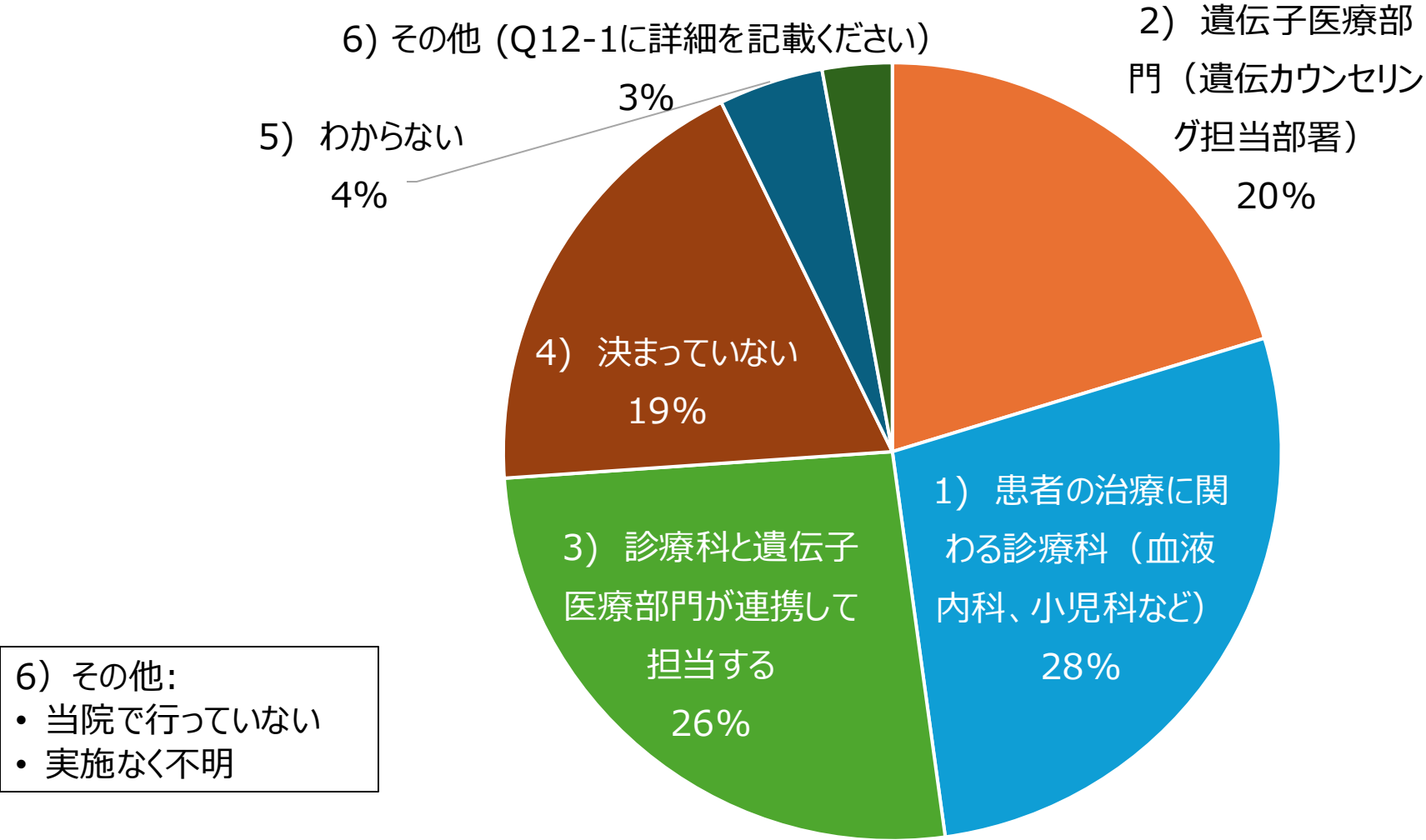
Q11 造血器パネル検査では造血器腫瘍又は類縁疾患に関連する生殖細胞系列検査結果が返却されます。これらの遺伝子でGPVが同定され、かつ患者が開示を希望していた場合の、患者への結果開示について教えてください。



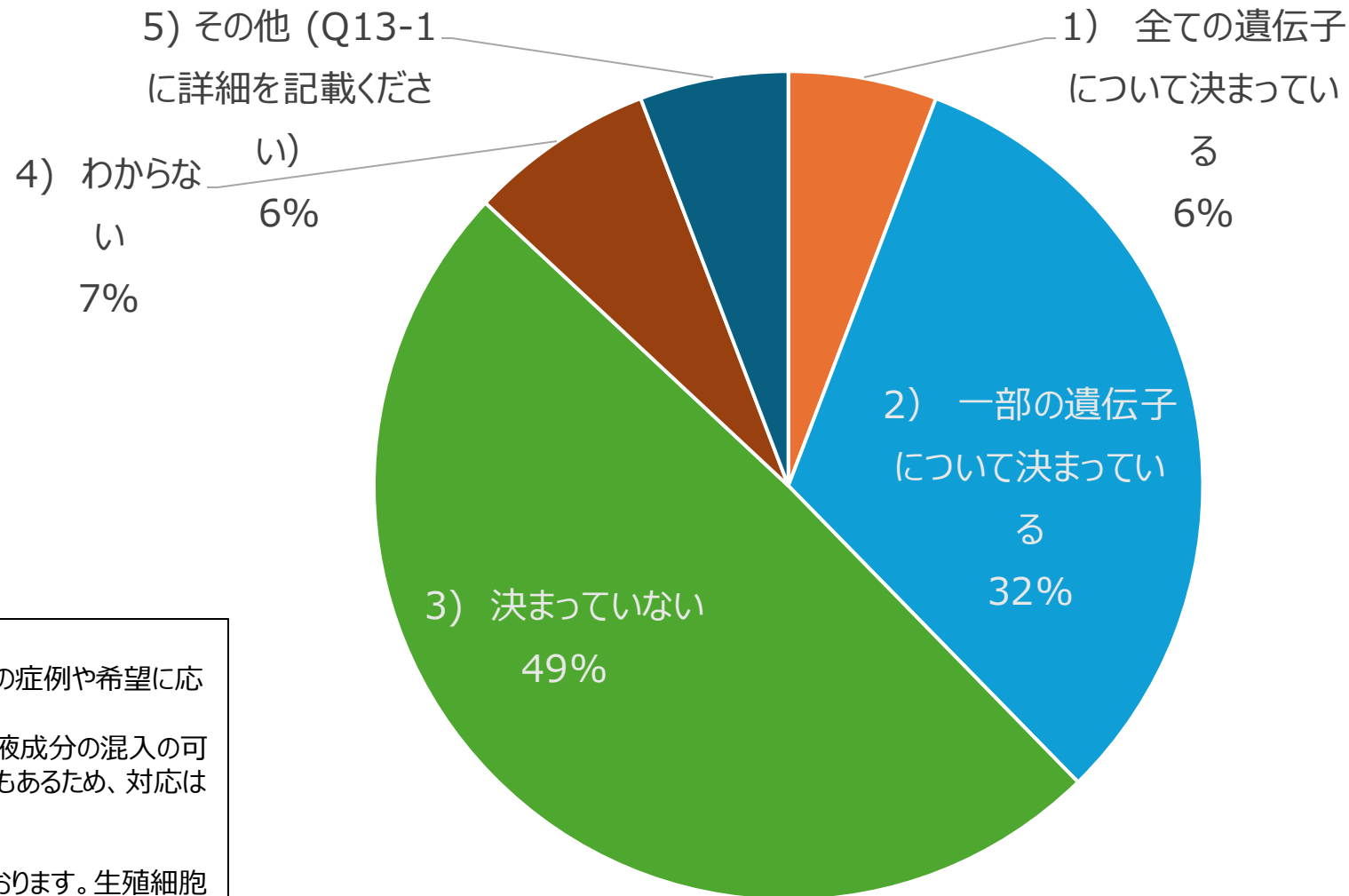
6) その他

- 造血器パネル検査は関係診療科で対応しております。生殖細胞系列に関する結果が出た際に当科に連絡をいただき、開示範囲等、診療科間で検討することになっています。
- 各科で対応

Q12 造血器腫瘍パネル検査で 造血器腫瘍又は類縁疾患に関わる遺伝子のGPVを「患者」に結果開示する際の担当部署をお教えてください

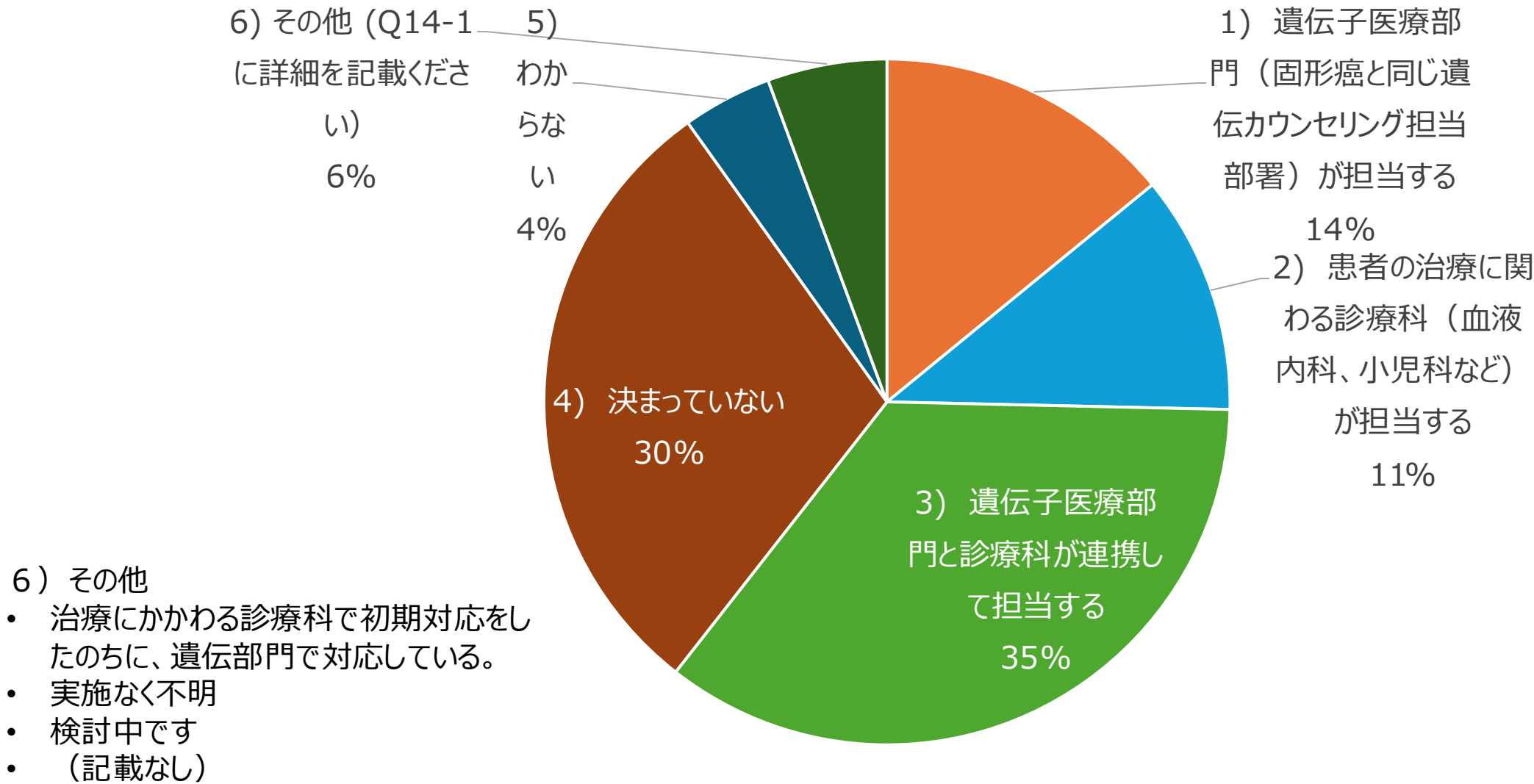


Q13 造血器腫瘍パネル検査で生殖細胞系列検査結果の返却対象となる遺伝子について、GPVが同定された場合、確認検査及びサーベイランスを含む血縁者への対応方針について教えてください。

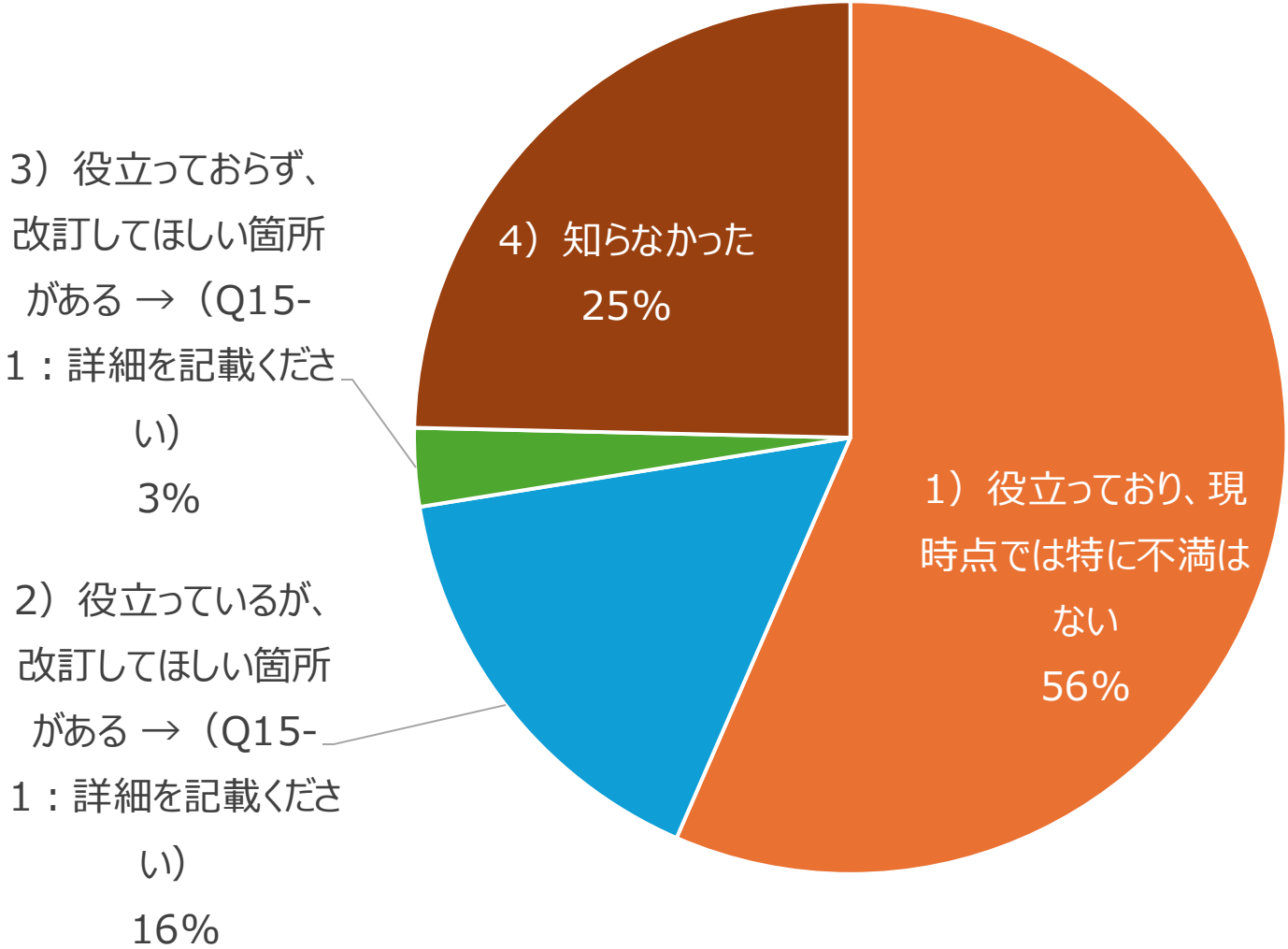


- 6) その他
- 基本的には提言やガイドラインに沿って、個々の症例や希望に応じて院内で検討の上で対応している
 - 造血器腫瘍パネルでGPVと判断されても、血液成分の混入の可能性などから遺伝性腫瘍と確定できない症例もあるため、対応は一律にしにくい。
 - 実施なく不明
 - 造血器パネル検査は関係診療科で対応しております。生殖細胞系列に関する結果が出た際に当科に連絡をいただき、開示範囲等、診療科間で検討することになっています。

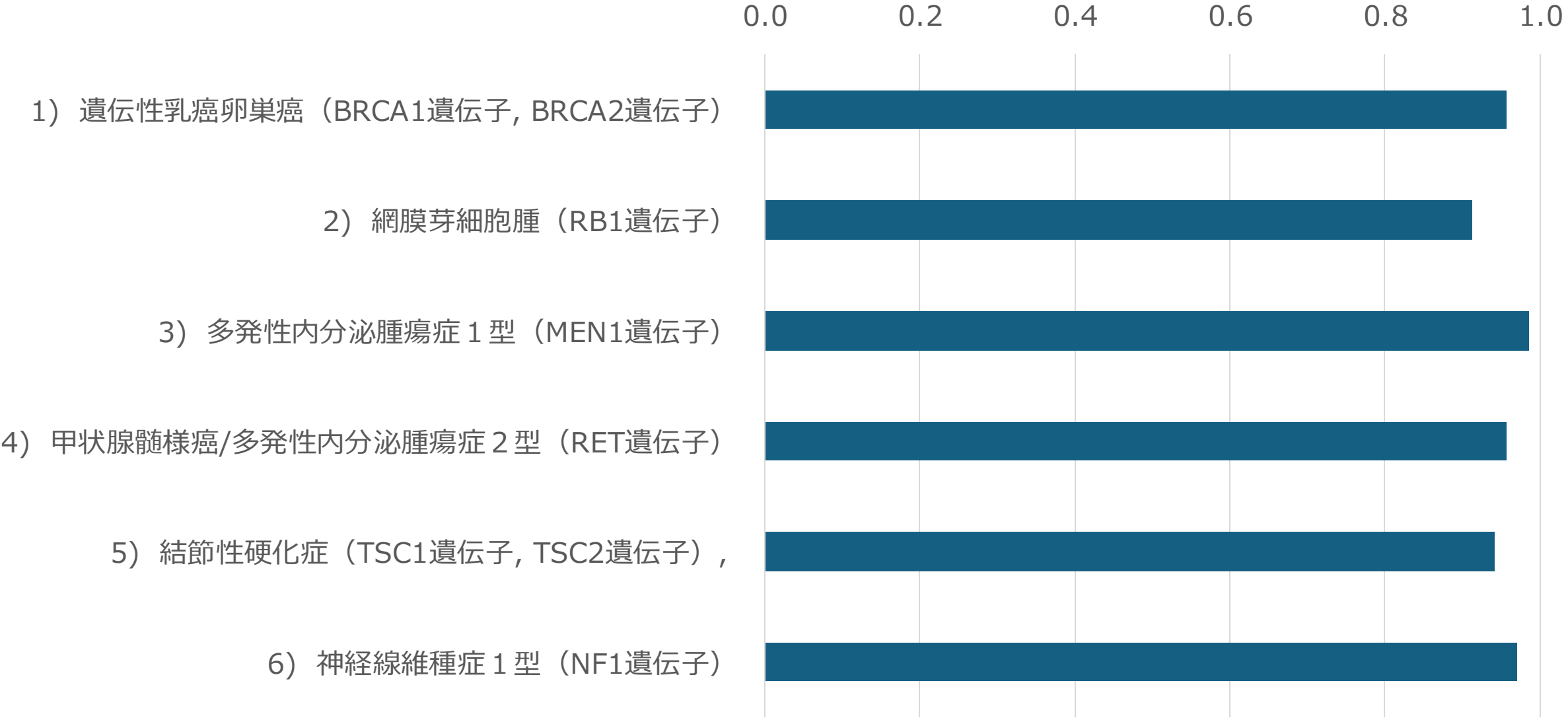
Q14 造血器腫瘍パネル検査で、造血幹細胞移植時のドナー選択に関わる遺伝子に病的バリエーションが同定された場合、ドナー候補となる血縁者への対応（カウンセリングや確認検査の提供）を担当する部署をお教えてください



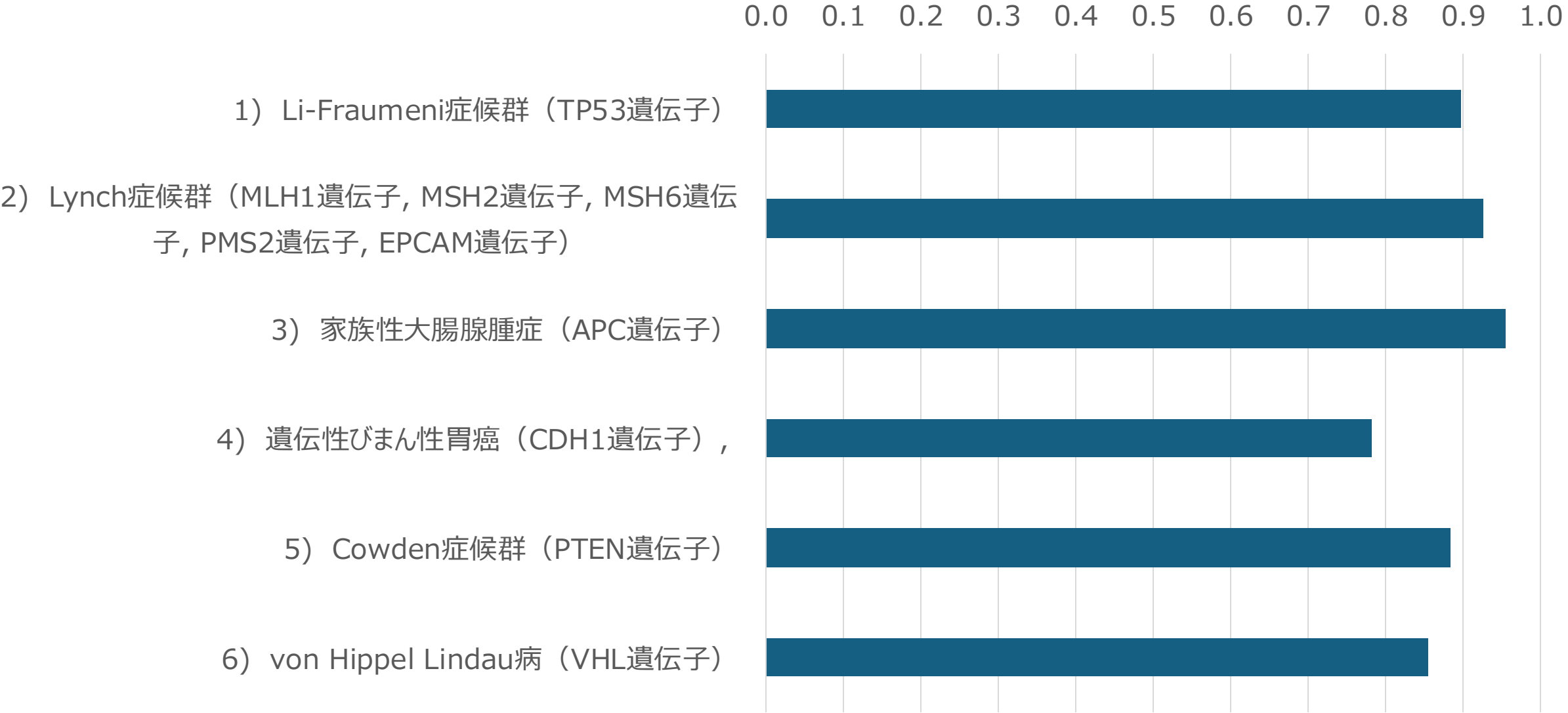
Q15 日本血液学会の「造血器腫瘍におけるgermline findingsの取り扱いガイド」*について、どのように考えますか？



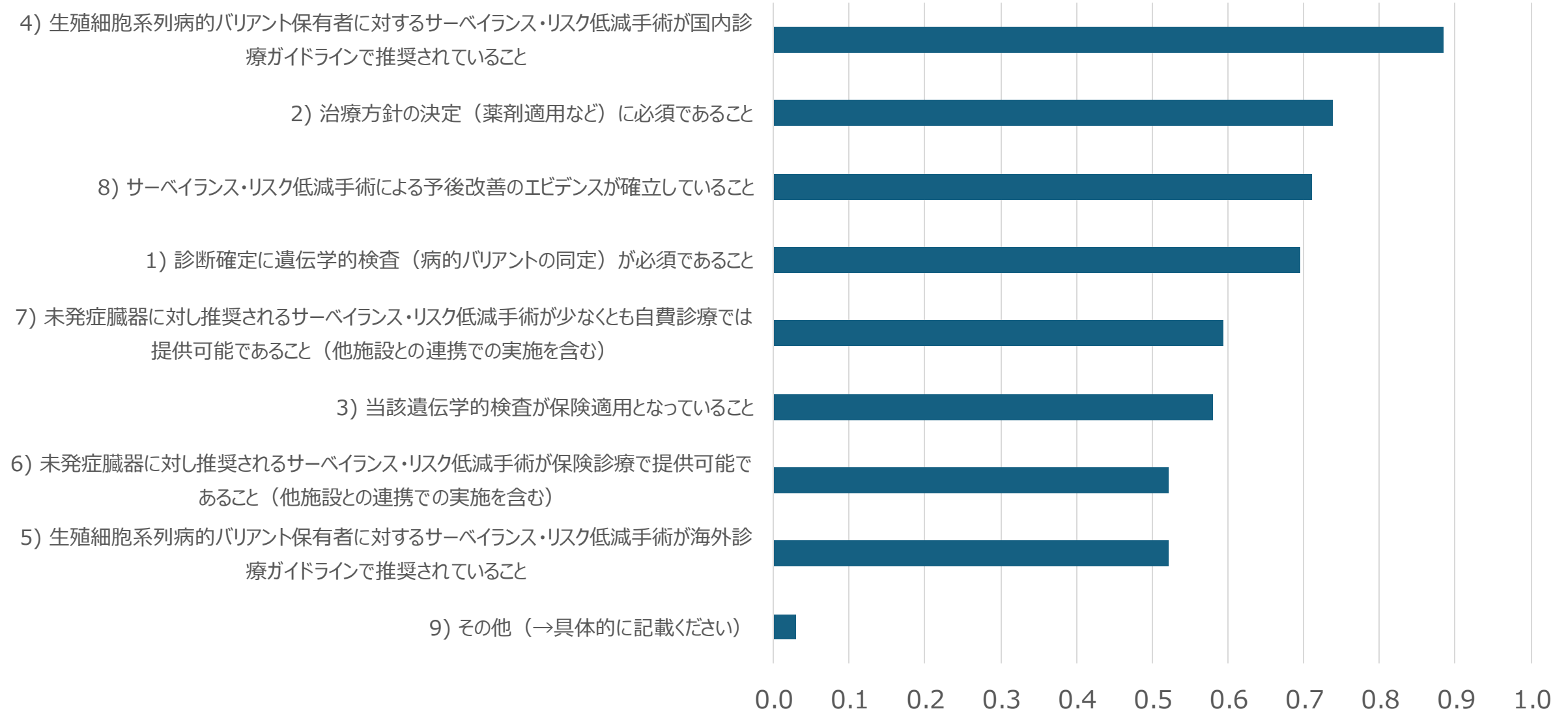
Q16 以下の遺伝学的検査が保険収載される遺伝性腫瘍症候群のうち、貴院で遺伝学的検査の実施が可能なものをお教えてください（がん遺伝子パネル検査（マッチドペア検査）およびPGPVに対するシングルサイト検査を除く）（複数回答可）



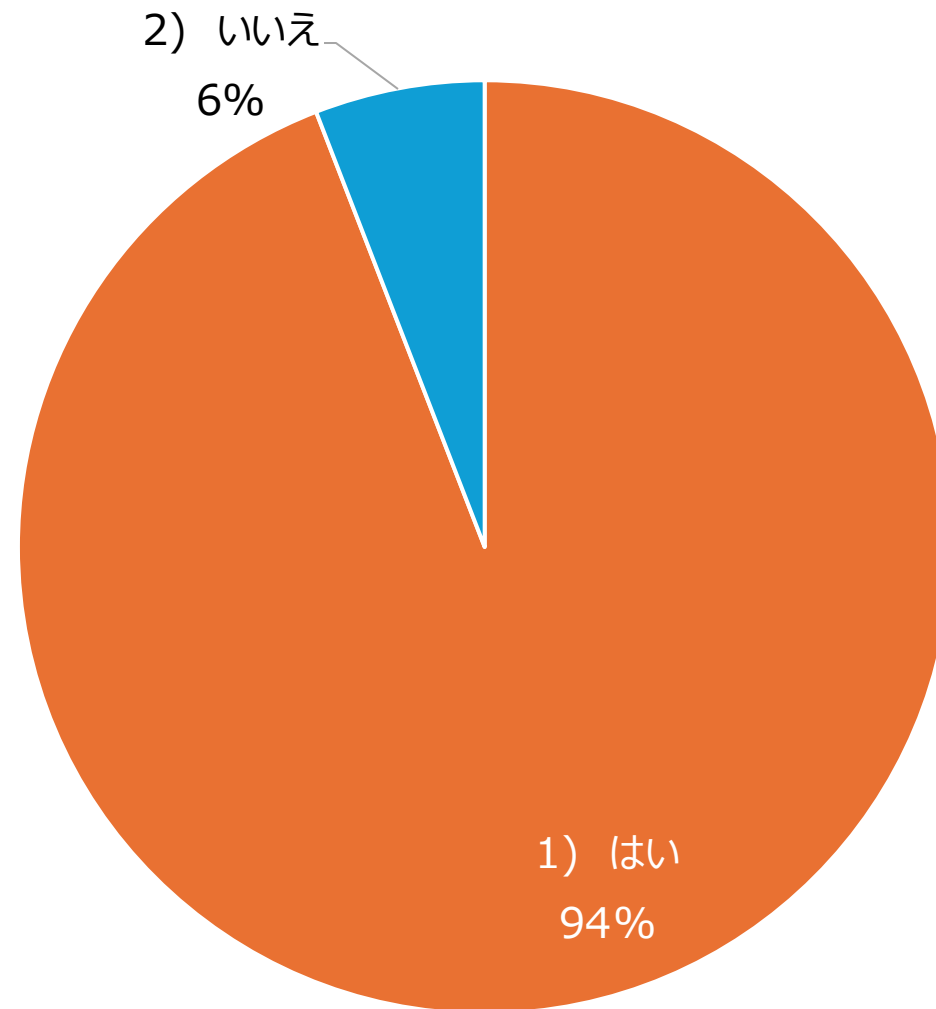
Q17 以下の遺伝性腫瘍症候群のうち、貴院で 遺伝学的検査の実施が可能なものをお教えてください（がん遺伝子パネル検査（マッチドペア検査）およびPGPVに対するシングルサイト検査を除く）（複数回答可）



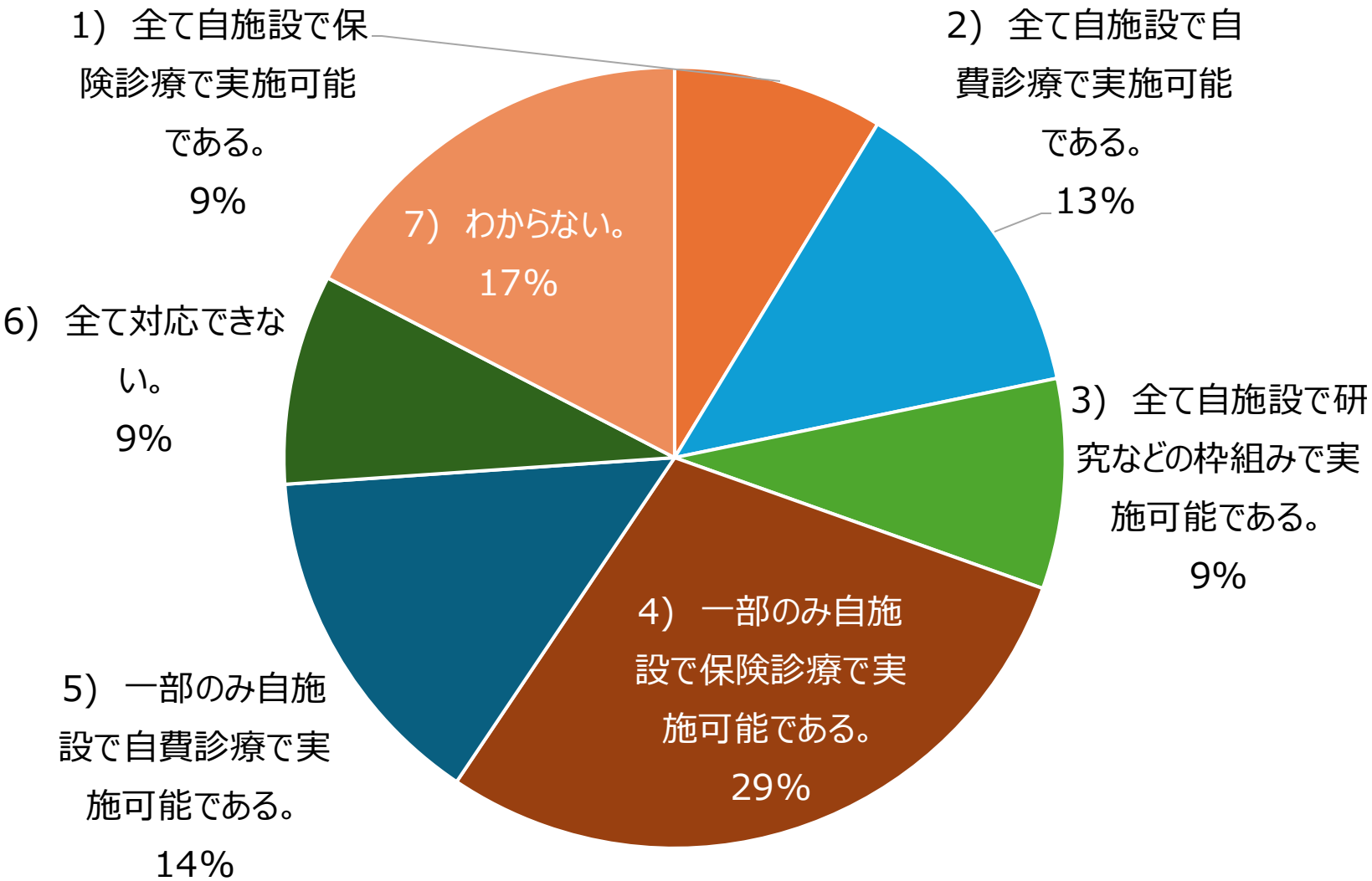
Q18 遺伝性腫瘍症候群が疑われる患者に遺伝学的検査を提案する際に重要と考える条件は何ですか？（複数回答可）



Q19 Li-Fraumeni症候群診療ガイドライン2019年版を知っていますか？



Q20 Li-Fraumeni症候群診療ガイドライン2019年版で小児（出生時から18才）に対し推奨されるサーベイランス項目（表3）について教えてください。



Q21 Li-Fraumeni症候群という病名を電子カルテにおいて使用していますか。

